

第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

報告書資料 一般 - 16

学校名・団体名	町田市立三輪小学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	生きる力の根っこ「ふるさと教育」

〈活動・研究の意義、目的〉

目的：生きる力の根っことなる「ふるさと」への誇りと愛着の涵養を目指し、里山活動を中心に地域協働の特色ある教育活動を推進する。

意義：本校では、東京都には豊かな自然が残り、地域住民による「おらが町の学校」の意識が高い地域協働の学校づくりが継承されてきた。特に、「生きる力」の礎となるふるさと三輪への誇りと愛着の涵養を目的とした特色ある学校づくりは、地域・保護者が求めているところである。地域住民による NPO 団体やサークル、町会・自治会・敬老会は学校運営への参画意識が高く、社会に開かれた教育課程の編成は本校の重要な課題である。本事業は、3年前より学校支援地域理事やボランティアコーディネーターを中心に地域教材・人材を活用し取り組んできた活動を精査し、発達段階に応じたカリキュラムを編成した昨年度の実績を踏まえ、計画・実施・評価・改善によるマネジメントを図りつつ、2020年以降のカリキュラムに組み込むためのより実践的な研究である。

〈活動推進体制〉

学校では学年内に「ふるさと教育」担当を1名設け、学校ボランティアコーディネーターと事前の打ち合わせ、当日の進行、事後の連絡を担当させた。また、校務分掌上の「総合的な学習の時間」担当の主任教諭が、全体の進行管理をするようにした。ボランティアが延べ300名以上の教育活動であり、年間に渡る学習であるので、体制の整備は重要である。

〈活動内容〉

昨年度の本助成をいただき、右のようなカリキュラムを作成した。今年度はこの6年間を見通した計画を、ねらいを明確にしながら学習として推進することを大切にしてきた。

また、この計画に基づくことで、児童・保護者は三輪小の特色ある教育活動を十分に理解し、その意義を深く理解した上で協力を得ることができた。

三輪小 ふるさと教育

黒字は里山がフィールド

テーマ	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年 あそぶ・ たのしみ	里山さんぽ	寺家ふるさと村			公園たんけん 手作りあそび・高齢者とのふれあい			尾根歩き・どんぐり観察 カブトムシの巣づくり		アンサンブルカンタビレ	
2年 あそぶ・ たのしみ		里山あそび公園	町たんけん		町たんけん	手作りあそび・高齢者とのふれあい	キク畑見学	どんぐりひろい・どんぐり畑			アンサンブルカンタビレ
3年 かかわる (生き物)			カブトムシ・どんぐりの成長	カブトムシを育てよう	高齢者との交流・ひまわり	アンサンブルカンタビレ	農家のお話	農家見学	どんぐり植樹	竹林の観察	竹とんぼを作ろう
4年 かかわる (水・木)		くらしとゴミ		鶴見川を知ろう		貯水池・クリーンセンター見学		アンサンブルカンタビレ			
5年 つなげる (米づくり)		田起こし	田植え	稲刈り	稲刈り	移動教室(山と森と水)脱穀	里山の暮らし	ありがとうの会			
6年 つなげる (自然・文化)			アンサンブルカンタビレ	林間学校(文化と自然)							里山の保全活動



〈具体的な活動報告〉

○里山活動【対象：全学年 545名】

(1) 活動 里山での活動を中心に総合的な学習の時間などを使った郷土学習として展開した。春の里山の観察に始まり、四季の移り変わりの観察や虫さがし、カブトムシの家作りなど、地域教材に触れ自然を感じることができた。

(2) 活動時期及び内容

1年…里山散策（4月）、手作りあそび（10月）、尾根歩き・カブトムシ巣作り（1月）

2年…草笛あそび（5月）、手作りあそび（11月）、古典菊畑見学（11月）、どんぐり拾い（12月）

3年…里山の春・カブトムシさがし（5月）、カイコを育てよう（5月）、農家のくらし（11月）、竹とんぼ作り（2月）

4年…鶴見川的环境（6月）、鶴見川のフィールドワーク（7月）、秋の里山（10月）、どんぐりの植樹（2月）

5年…里山のくらし（11月）

6年…里山の絵手紙（4月）、里山の保全活動（2月）

○米づくり【対象：第5学年 111名】

(1) 活動 本校の米作りでは、田植えと稲刈りだけの田んぼに入るだけの体験ではなく、雑草取り等できる限りその過程を学ぶと共に、三輪の自然の豊かさ、大切さ、地域の素晴らしさを感じさせている。

(2) 活動時期及び内容 米づくりでは、主となる田起こし、田植え、雑草

取り、稲刈り、脱穀を体験させる。地域の三輪小米作りボランティアが、

水量調整・雑草取り・害虫駆除等、水田管理の大変な農作業援助を支援してくださり、他の地域では消えつつある米づくりを継続している。12月には、米作りを通して学んだことを、お世話になった方々へ伝える会を実施した。

○鶴見川探検【対象：第4学年 90名】

(1) 活動 調べ学習の意欲も高まり、実際に見ること、聞くことの大切さも学ぶことができ、まとめとして自分たちができることは何かを環境問題として考えることができる。

(2) 活動時期及び内容 環境学習としての学校の前を流れる「鶴見川」では、日頃より鶴見川を観察している地域の方やNPO法人、大学の支援を受け、動植物の様子を映像で見たり、実際に川でフィールドワークをしたりして、水に関わる環境を考えるきっかけとなった。

○音楽鑑賞【対象：全学年 545名】

(1) 活動 アンサンブルカンタービレ（学区域在住のプロの演奏家）による「音楽鑑賞教室」は充実した演奏で定着した。修了式には、ふるさと教育のまとめとして全校で「ふるさと町田よ」（アンサンブルカンタービレで鑑賞）を歌うなど、地域に対する誇りと愛着を培うふるさと教育のまとめをした。

(2) 活動時期及び内容 年間6回の定期的な演奏を含めて児童の音楽への関心を高め、鑑賞態度の向上を年々図ることができている。

○俳句づくり【対象：全学年 545名】

(1) 活動 里山活動を中心にした自然体験を俳句づくりに生かす

(2) 活動の時期及び内容 常時活動として、投句ポストを校内に設置し、学期ごとに優良作品を表彰する。また、地域のコミュニティセンターの文化祭や外部の大会に応募した。

〈成果〉

子供たちに自分の住む町である「三輪」に対する愛着と、心の「ふるさと」としての誇りをもつきっかけとなる教育を展開できた。今年度も、市の学校教育協力表彰に、本活動の協力者が受賞するなど発信することができた。また、俳句ではNHK全国俳句大会に入賞者を2名出すなど快挙もあった。昨年度作成した「三輪小ふるさとマップ&カリキュラム」（今年度全児童が活用）を、更新する目処ができた。



カブトムシさがし【みどりの会】



田起こし【米づくりボランティア】



鶴見川の観察・体験【TRネット】



音楽鑑賞【アンサンブルカンタービレ】